

2026年2月15日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒476番（旧 266 番）（KH 姉）

『いかなる恵みぞ』

聖書⇒詩編 95 章 1~5 節（MM 姉）

『主に向かって喜び歌おう。
救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。
御前に進み、感謝をささげ／
樂の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。
主は大いなる神／
すべての神を超えて大いなる王。
深い地の底も御手の内にあり／
山々の頂も主のもの。
海も主のもの、それを造られたのは主。
陸もまた、御手によって形づくられた。』

（祈り）

礼拝讃美歌⇒13 番（旧 153 番）

『わが主よ星の輝く』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 1 章 18~20 節（KT 姉）

『不義によって真理の働きを妨げる人間のあらゆる不信心と不義に対して、神は天から怒りを現されます。なぜなら、神について知りうる事柄は、彼らにも明らかなからです。神がそれを示されたのです。世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます。従って、彼らには弁解の余地がありません。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 3 章 10~18 節

『次のように書いてあるとおりです。

「正しい者はいない。

一人もいない。

悟る者もなく、／

神を探し求める者もない。

皆迷い、だれもかれも役に立たない者となった。

善を行う者はいない。

ただの一人もいない。

彼らののは開いた墓のようであり、／

彼らは舌で人を欺き、／

その唇には蝮の毒がある。

口は、呪いと苦味で満ち、

足は血を流すのに速く、

その道には破壊と悲慘がある。

彼らは平和の道を知らない。

彼らの目には神への畏れがない。』』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 3 章 21~24 節

『ところが今や、律法とは関係なく、しかも律法と預言者によって立証されて、神の義が示されました。すなわち、イエス・キリストを信じることにより、信じる者すべてに与えられる神の義です。そこには何の差別もありません。人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。』

(祈り)

讃美歌⇒プリント (KH 兄)

『』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11 章 23~26 節 (KH 兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡

される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒142 番 (旧 58 番)

『渡されたもう』

《建徳》

聖書⇒テサロニケの信徒への手紙一 4 章 1~12 節 (HK 兄)

『御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 2 章 10 節

『なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。』

聖書⇒イザヤ書 55 章 10~11 節

『雨も雪も、ひとたび天から降れば／

むなしく天に戻ることはない。

それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ／

種蒔く人には種を与え／

食べる人には糧を与える。

そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も／

むなしくは、わたしのもとに戻らない。

それはわたしの望むことを成し遂げ／

わたしが与えた使命を必ず果たす。』

礼拝讃美歌⇒395 番 (旧 252 番) (KH 兄)

『慈しみ深き』

《特別演奏》

武蔵野音楽大学大学生
サクソバット演奏
カンツォーナ等
マリーニ、ガブリエリ作曲

《建徳要旨》